

年頭のごあいさつ



上士幌町長

竹中貢

新年あけましておめでとうございます。

町民のみなさまにおかれましては、希望に溢れる爽やかな新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、ソチ冬季五輪でスキージャンプの葛西紀明選手などの日本選手の活躍、LED開発でノーベル物理学賞を日本人3人が受賞するなどの明るい話題の一方、御嶽山噴火などの自然災害が国内各地で発生する悲しい出来事もありました。

このようなか、本町ではふるさと納税で全国の多数の方々から多額のご寄付をいただくとともに、三重県伊勢市で飴類の製造を行う松屋製菓株が全額出資する新会社が本町に設立するなど、喜ばしい年となりました。

先の解散総選挙では、連立政権与党が多数の議席を獲得しました。公約に掲げられた経済対策や先の国会で成立した「まち・ひと・しごと創生法」などに基づく諸施策が本町のような地方末端まで循環することを期待するところであります。

また、農業など地域経済に直結する環太平洋経済連携協定（TPP）交渉の今年の動向も注視するところであります。

町内経済におきましては、基幹産業の農林

業をはじめ商工業や観光など、厳しい環境下にありますが、各団体や事業者のみなさまの果敢な取り組みによりその振興が図られています。関係のみなさまに敬意を表しますとともに、引き続き町としても地域振興に係る諸施策の展開を図ってまいります。

さて、本町のまちづくりは、第5期上士幌町総合計画の4年目を迎え、子育て・教育・地域包括ケア（医療・介護・福祉等）・住環境整備（雇用・定住）を重点テーマとして推進してまいります。

建設中の「認定こども園」、医療法人北斗による「上士幌クリニック・介護老人保健施設」、上士幌福寿協会による「地域密着型特別養護老人ホーム・小規模多機能型居宅介護施設」については、4月の開所に向けハーデ・ソフトの両面で最終段階の準備に入っています。懸案の生涯学習センター改築については、学童保育やお年寄りのいきがい機能などを加えた複合施設の実施設計を行い、早期な着工をめざしてまいります。

また、ふるさと納税を通じての寄付金の用途は、寄付者の意向を踏まえ子育て・教育支援や地域経済の振興などに活用するほか、2月には東京で都市との交流を深める「大感謝祭」、3月には「子育て・少子化対策フォーラム」を開催してまいります。

結びに、町民のみなさまの一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、みなさまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

平成27年 未年



上士幌町議会議長

杉 山 幸 昭

迎 春



町民のみなさま、新年明けましておめでとうございます。

平成27年の年頭にあたり、上士幌町議会を代表し謹んで新春のご挨拶を申し上げます。併せて、町議会に対する日頃のご理解とご協力に対しましてもお礼申し上げます。

最近議会の用務で役場に来ますと、随分と周りの様子が変わったことに感慨深い思いがします。「認定こども園」や「上士幌クリニック」及び「介護老人保健施設」の工事が順調に進み、その外観が分かるようになります。役場北側駐車場やコミニユニティセンター線道路舗装は完成し、既に供用が開始されています。

これらの施設が今年完成し、幼児期の保育・教育に認定こども園が最大限活用されることや、老健施設を併設した上士幌クリニックが医療・福祉の面で町民のみなさまの期待に応えてくれることを願うとともに、コンパクトな街並み整備の第一歩を踏み出せたことに喜びを感じています。

一方で、うれしいニュースといえば、ふるさと納税件数が12月上旬の時点で3万7千件を超えているという状況です。このような温か

いご支援に感謝して、2月1日に東京都内において「感謝祭」を開催し、納税者のみなさまとのコミュニケーションを深め、町の物産のPRや企業誘致活動等の企画が現在進行しています。議会としてもこのイベントに全面的に協力したいと考えております。

私も議員の任期も今年4月30日で満了を迎えることとなります。任期中には、今後10間のまちづくりの指針となる第5期上士幌町総合計画の策定にあたり特別委員会を設置しての審議や、平成24年度には一年間をかけて議会改革について検討してきました。まだまだ不十分な点も多々ありますが、議員個々に思いを出し合い論議したことは成果だつたと思つております。議会に対しまして、町民の皆様にこれまで以上に感心をお寄せ頂けるように今後とも努力するとともに、みなさまの声が町政に反映されますように、日常活動に精進する所存ですので、今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

結びとなりますが、町民のみなさまにとりまして、健康で実り多い良い年になりますよう、ご祈念申し上げ年頭のご挨拶と致します。